

入善町 議会だより

9月定例議会

№. 63号

発行所 入善町議会

編集 入善町議会だより編集委員会

富山県下新川郡入善町入膳3,255

☎ 0765 (72) 1100

見晴らしがよくなりました!

— 舟見山自然公園展望台から望む入善町全景 —



非核平和都市宣言を決議

道路の改良・舗装に1億円追加

舟見連長橋をかけかえ
中央通り線の代替地も取得

県内初の屋内ゲートボール場

6,000万円で老人福祉センター横に建設

米の市場開放阻止に意見書提出を決議



水キラキラ 町いきいき 入善

第 20 回

9月

定例会

会期12日間

9月定例会は19日から30日までの会期で開催され、63年度一般会計補正予算など議案4件、請願6件、議員提出議案5件、同意案1件について審議されました。

また、62年度決算認定については決算特別委員会を設置し、12月定例会までの継続審査としました。

議決した主な議案

道路整備に一億円

舟見連長橋をかけかえ

一般会計補正予算

- 六十三年度一般会計補正予算は二億六千七百七十四万三千円を追加し、予算総額を六十五億三千九十九万六千円とした。
- 今回の補正では、道路の改良、舗装、清雪工事、農道の整備などの町単独事業に約一億円が追加されたほか、屋内ゲートボール場建設に四千円増額、中央通り線代替地の先行取得費、舟見の連長橋かけかえ工事費などが計上されています。
- 追加補正された主なものは次のとおり。
- 農村基盤総合整備事業 二千五百五十万円
- 道路改良舗装事業 七千六百万円
- 無雪害街づくり事業 二千万円
- 君島栲山寺線新設改良事業 一千六百万円
- 中央通り線代替地取得

- 屋内ゲートボール場建設事業 三千四百七十万円
- 舟見、連長橋かけかえ工事 四千円
- 舟見、連長橋かけかえ工事 二千四百七十万円

給水管を更新

簡易水道特別会計

舟見鉾泉前通りの道路改良工事の施工に伴って、道路内に敷設されている舟見簡易水道の給水管三百一十を更新するため、工事費百六十万円を補正。

一名を追加採用

育英奨学資金特別会計

山本正勝氏のご厚意による奨学生は、現在八名採用されているが、今年度は大学院生一名を継続採用するために、二十四万円を追加補正したもの。

適用期間を二年延長

低開発地域工業開発促進法施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例を一部改正し、課税免除の適用期間を二年間延長した。

請願の結果

- ◆種子一時保管庫建設に関する助成について (採択)
- ◆町道跡線線路の消雪工設置に関する請願 (継続審査)
- ◆消費税の創設に反対する意見書提出についての請願 (継続審査)
- ◆消費税導入に反対する請願 (継続審査)
- ◆「消費税」に反対する意見書採択についての請願(継続審査)
- ◆リクルート疑惑などの真相解明を要求する請願 (不採択)

教育委員に 細田 睦夫氏 愛場 一立氏

9月30日に任期満了となる教育委員の細田睦夫氏は引き続き再任することとし、山本甚造氏の後任には愛場一立氏を選任することに同意した。

人事

入善町東狐 細田 睦夫(再)
" 上野 愛場 一立(新)

決算特別委員会を設置

昭和62年度決算を審査するため、5人の委員による決算特別委員会を設置し、12月定例会までの議会閉会中の継続審査とした。



委員長	五十里隆章
副委員長	九里 郁子
委員	板川 清治
"	野坂 俊一
"	岡島松次郎

議員提出議案

◎国庫補助負担率の復元に関する緊急要望決議

国の財政上の都合で、六十年代以降、福祉・教育を中心に国庫補助負担率の一方的な削減が行われ、地方財政は深刻な状況にある。この措置は六十三年度までの暫定措置であり、五十九年度の水準に復元するよう政府、国会に要望する。

◎農業の将来展望の明確化と農業振興政策確立に関する意見書

長期にわたる減反政策に加えて、米価の引き下げ、農畜産物の輸入自由化など、農業を取り巻く環境は極めて厳しい状況になっているため、農家が安心して営農にいらしめるように、将来の展望を明確にし、農業振興に関する基本政策を確立するよう政府関係者に意見書を提出する。

◎ジュネーブ条約追加議定書の加入についての意見書

わが国は、戦争犠牲者保護に関

するジュネーブ四条約に加盟しているが、昭和五十二年に制定された一般市民や非戦闘員を戦災から守るための追加議定書には未だ加入していない。

◎旧軍人軍属恩給欠格者の救済に関する意見書

平和祈念事業特別基金に関する法律が制定され、戦後強制抑留者、在外引揚者に対して戦争による労苦を慰謝するため、感謝状、慰労品、国債交付などが行われることになったが、これを旧軍人軍属の恩給欠格者にも適用するように政府関係者に意見書を提出する。

◎非核平和都市宣言に関する決議

近年、核廃絶の世論が高まってきており、入善町でも、地区労を中心にした非核平和を求める署名運動が展開され、議会に要請書が提出されたこともあって、全会一致で決議することを決定した。

なお、富山県内で非核平和都市宣言を行っているのは、高岡市、魚津市、滑川市、婦中町、小杉町の五市町。

非核平和都市宣言

核兵器を廃絶し、世界の恒久平和を実現することは、人類共通の願いである。

わが国は、世界で唯一の核被爆国として広島、長崎、ビキニの惨禍を人類の上に再び繰り返させてはならない歴史的な使命を担っている。

美しい郷土を守り、豊かな暮らしを子や孫に伝えることは、我々の責務であり、地方自治の基本的条件でもある。

よって、入善町は、憲法にうたわれている平和的生存権を確立するため、ここに非核平和都市宣言を行うものである。

記

1. 入善町は、すべての国の核兵器の緊急な廃絶を全世界に強く訴える。
2. 入善町は国是である「核兵器を作らず、持たず、持ち込ませず」の非核三原則を将来にわたり厳守する。
3. 入善町は、戦争の悲惨さを子々孫々に伝え、平和を守る行政を行う。

昭和63年9月30日

富山県入善町議会



いっぱん質問

9月22日

4 議員が町政を質す

訪ねたい町 住みたい町 町づくりに職員サミット

広瀬喜代志議員(自民)

何事にも果敢に挑戦し、常に問題意識を持って、その解決のために全力を尽くすよう指示している。今までのように年功序列の時代は終り、努力した者が報われる職階制が大切である。

職員研修は、六十二年度に管理、監督、初任者研修を十四回、コンピュータ研修等八回、モラルの向上、接遇研修六回などを行った。

職員サミット会議の趣旨を十分取り入れ、研修の手法を再検討して成果の上がるよう進めたいと考えている。

町の重要な施策 生涯学習とスポーツ

機構改革によって生涯学習課とスポーツ振興課が誕生した。これは共に町・県・国にとっても重要な施策であるので、それぞれの考え方と現況を聞かせてほしい。

飯野小学校の運動会で、伝統をなくしてはいけないと、全生徒で盆踊りを踊ったり、父兄と縄なまりレーを行うなど、手づくりの運動会をした」と計画に取り組んでお

町民一人一文化 充実した生涯を

教育長

今の若い世代は価値感の多様化による相違もあって、地域社会活動への積極的な参加に欠け、職域中心の人間関係になりがちで、町が進める研修会への参加が少ない。このため、若者を含めた町民ニ



▲コンピューターに挑戦/
—— 働く婦人の家で開かれたパソコン教室 ——

問 町長は、入善町民憲章に明記してある事柄に自分の心情をアラスして町政に当たっておられ、職員には親切、明朗、公平の精神、行政においては公正と能率を実現することに努力するよう指導していると思うが、任命権者として最も望ましい職員像をどのように思っているか。

職員には研修の機会を与えねばならないことになっているが、その実態はどうか。また、職員が上司に自分の意見が言える明るい職場環境になっているか。「訪ねたい町、住んでみたい町」をテーマに職員サミット会議の開催を検討されるよう提案します。

問題意識を持って 全力を尽くす

町長

理想的職員像は、法令にも熟知しながら環境の変化に十分対応できる柔軟な自己革新ができ、町民に接する態度は明るく、明朗であるべきだと思う。今年の訓示でも自己開発の重要性を喚起しており

られるが、全部で知恵を出し合えば、すばらしいアイデアが出るという見本である。

ズを考えて事業の見直しを進めている。

今年度は地域の活性化の根拠となる公民館活動として、公民館クリエティブ事業に取り組んでおり、町民一人一文化、一人一スポーツ、一人一緑化、一人一奉仕などの特色ある活動が、地域に根づくように期待している。

また、町民大学講座や豊かなふるさと学級のほか、パソコンや英会話、余暇を楽しむ趣味講座等を開設し、好評を得ている。今後、これらの一層の推進を図り、豊か

心の健康にも配慮

で充実した生涯を送れる人づくりのため、本町にふさわしい生涯学習体制の整備充実に努めたい。

スポーツ振興課長

スポーツ振興課が新設されたのを契機に中央プール、園家山キャンプ場、運動公園など、既存施設の見直しと整備を行っている。また飯野小学校跡地にテニスコート一面、ウォークベースポール、ゲートボール場の建設を行い、総合体育館建設の用地取得についても地権者と交渉中である。

スポーツ行事では、小学二、三年生を対象に一輪車乗り教室や水泳教室、中学生を対象に陸上教室、成人を対象にテニス講座やウォークベースポール教室等を開設している。

県派遣スポーツ主事の配置により、町独自の生涯スポーツプランやスポーツ指導体制の整備を図り、健康づくりの指針となるよう取り組んでいる。今後はスポーツ行事の消化に終ることなく、施設利用者のマナーなど心の健康を含めたスポーツ活動となるよう啓蒙に努力したい。

高速時代の対応が課題

問

北陸自動車線の全線開通によって

主要道路の交通量やJ R入善駅の利用客数に変化がないか。また、八号線沿線にあるレストランなどはどうか。
わが町のようにインターチェンジのない地域は、高速道路時代はどう対処するかが大きな課題である。

町の中小企業や商店にとって、どんなメリット、デメリットがあり、それぞれの対応策をどのように考えているか。

積極的に企業誘致

町長

日本道路公園が、お盆を挟んで十日間、各インターチェンジで行った交通量調査の発表によると、北陸自動車道全線では昨年より七割増、新潟県は十五割増、富山県十割増であり、朝日では八号線との接続が解消されたため五割増の減少となっている。

入善市内の八号線の交通量は十二時間で一万七千台、七・六割増加しているが、町の主要道に対する影響は、平常時の交通量や年間を通しての動向を見極める必要がある。

J R入善駅の利用客は、八月では昨年とほぼ同じで北陸自動車道全線開通の影響は数字上では顕著なものはない。

商工業に対しては、ガソリンスタンドやドライブインの一部に少し影響があるようだが、総体的には大きな変化はないと思う。

消費税は最悪の税制

町財政にも大きな影響

全線開通によって、今後、北陸と関東との一体感が高まり、人や物、情報の交流が促進され、経済的、社会的な結びつきが強められることによって、地域間の競争が

激しくなることが予想される。そのため、足腰の強い企業誘致や魅力ある商店街づくり、地元主導型のショッピングセンターの問題等にも積極的に対応したい。

問

消費税は食料品や水道代、鉄道やバスの運賃、新聞代、お産の費用にも税金がかかり、空気以外は税金と言われるほどである。

買物をすれば三割の税金がかかるわけであるから、収入の少ない人ほど負担が重く、金持ちほど軽くなる最悪の不公平税制だと思いが、町長の考えを聞きたい。

町の影響額は 一億九千万円

町長

税制は、国民が幸せに暮らせる安定した社会をつくるため、共通の費用を公平に分ち合うためのものであり、減税や不公平税制は正の問題を含めて、税体系全体の中で消費税を考える必要がある。そのためには、国民の代表である

九里 郁子 議員(共産)

国会の場で、国民が理解し、納得できるような十二分な審議がなされることを最も大切と思う。

今回の税制改革案によると、歳入では町民税の減税によって一億一千六百万円、消費税に吸収される電気税、たばこ消費税などで約一億五千万円が減収になる。これに対して、消費増税と地方交付税で約一億三千三百万円が補てんされるので、差引一億三千三百万円が減収になるものと思う。

歳出では、工事請負費や需用費、備品購入費などの三割で五千七百万円ぐらゐの支出増になるものと試算している。

農業汚染が心配

棚山ゴルフ場の開発

問

全国的なゴルフ場建設ラッシュの中で、農業汚染などの自然環境への影響が大きな社会問題となっ

てきている。

計画されている棚山ゴルフ場に対する県土地対策審議会の意見書の内容や、環境アセスメントはどのようなになっているか。

棚山開発株式会社に対して五百万円の出資金が予算化されているが、今月中に納入するのか。

地域の活性化を期待

町長

ゴルフ場の開発によって地域の活性化や雇用の増大、観光産業の振興などに役立つものと期待をしている。

開発には、自然が守られ、環境が破壊されないように、いろいろな法律の網がかけてられている。

農業についても使用規制が定められているが、最近、農業汚染の問題が話題に上がってきたため、環境庁や農林水産省、県などでも実態調査を行っており、さらに使用基準が強化されるものと思う。

五百万円の出資金は議会の意見を聞いた上で、隣町などとも足並みをそろえて納入したい。

企画財政課長

県の意見書に対する会社の回答書案には、開発に取り組む会社の基本姿勢が記されている。

具体的な内容については、今後の実施設計など、順次、事務的な手続きがなされる段階で十分にチェックをし、適切な指導をしていきたい。

環境アセスメントは、まだ見て

林道関係者に混乱

いないので会社に問い合わせさせて取り寄せたい。

問

林道奥中野線の工事が、今年度着工できなくなり、予算が減額補正されている。

棚山ゴルフ場開発のために林道の事業計画が狂わせられ、関係住民に混乱をもたらしていると思うがどうか。

六十四年度以降も工事を継続する計画なのか。

意見がまとまれば 林道工事を継続

町長

林道の開設工事は、普通の道路工事と違って用地買収をしないので事業を進めるため、とりわけ地権者や関係者の理解と協力が必要である。

現在、地元関係者の意見が一致していないので、一年間様子を見ることにしており、理解が得られれば、国の補助金をもらいながら六十四年度以降も工事を継続して行いたい。

地元負担なし 在来線存続の運動を

問

運輸省が示したスーパースペシャル計画は、新幹線とは似ても似つかぬ

ものである。

四十町の地元負担や在来線廃止の方向が打ち出されており、町民の公共交通手段を奪ってしまうことになる。

県民の願いに沿って、地元負担なし、新幹線と在来線の交通ネットワークをつくるという観点に立って、運動を進めてもらいたい。

廃線はあり得ない

町長

魚津、糸魚川間が第四位にランクされ、着工はまだまだ先送りになると思う。

魚津、糸魚川間に新しい線路ができたとしても地形的な面から見て、日常の通勤、通学の足となることは、あり得ないと確信している。

自由化反対の 行動を

問

全米精米業者協会が日本のコメ市場開設を求めて米通商代表部に再提議を行い、新しい局面はいつている。

町長は、六月議会で、コメの自由化はないと思ふと述べられているが、絶対にしてはならないと

いう信念なのか。入善町の農業、日本の農業を守るための具体的な運動や行動の方針を示してもらいたい。

あらゆる機会に 運動を展開

町長

本町はコメが主体の町であるので、あらゆる機会を利用して反対



おいしい入善米も今年はやや不良 農協飯野支所で

国民に政治不信感

負託に応える努力を

本多 幸男 議員(清新)

国民の一人として、また政治に携わる者の一人として、国民から疑惑をもって見られるより、自ら本質を明らかにする努力が必要だと思ふ。

消費税よりも 不公平税制の是正を

問

消費税が決定した場合、町として一億九千万円減収になり、行政の効率化や自然増収で賄うという答弁だが、人件費の節減等が懸念される。どのように効率化を図る考えか。

税制改革は初めから消費税を提案するのでなく、不公平税制の是正を大黒柱にすべきと考へるが、町長はどんな感想を持っているか。町の財政と町民生活に重大な影響を及ぼす消費税導入には、毅然として反対の態度を示されるよう、強く要望する。

問題の本質を明らかに

町長

リクルート問題は非常に不透明な部分が多く、国会の論議を通して国民の前に問題の本質を明らかにすべきである。

運動を展開していかなければならないと思っている。

全国町村会でも自由化は絶対反対であり、全米精米業者協会の提訴を却下するよう政府に申し入れをしており、全く同感である。

国民の納得と 合意が必要

町長 消費税が導入されると、一億三千三百万円程のマイナスになる。自然増収や経費の節減で補うと言いつつ、減らない方が一番歓迎することである。

職員定数の管理には現在も苦慮しており、できるだけ少数精鋭で町民に奉仕するよう指示しているが、職員の定数を大きく割るような形で労働強化を強いることのないよう十分配慮したい。

税制は消費税だけの問題でなく直間比率の問題や所得、消費、資産等について、国民の納得と合意が得られるよう国会で十分協議しその上で国民に信を問うことが一番いいのではないかと。

国民の中に現行税制に対する不満があると思われるので、この機会に直間比率や不公平感を払拭して、国民の理解と協力によって将来にわたる税体系を確立することが必要だと考えている。

運輸省案は無責任

問

新幹線についての運輸省案を見ると、県民が期待していた在来型新幹線とは言えないものであり、長野系魚川間、魚津高岡間の整備計画が依然つきりしていない無責任なものである。

町に対し、関係省庁、県当局から内容通知があったのか。また、地元負担の問題について、どのように考えているか。

新川ブロックにおける停車駅の問題が混ざりこんでいるようだが、黒部が駅ができるのか。魚津はどうか。入善は全く関係がないのか。入善にも停車駅をつくるよう働きかける強い姿勢を持ってもらえるか。

地元負担は 十割が限度

町長

運輸省案が発表される前に県が情報を入手しており、県知事から説明と基本的な考え方の報告があった。その後の問題についても報告を受けているが、新聞等の報道と大変わりにくい。

停車駅は従来の発表のとおり黒部にできるようだが、魚津は黒部と近距離のため難しいと思う。

財源問題は、基本的には全額国の予算でやってもらうことが一番であるが、地元の熱意を示すという点で、十割を限度というものが県民の多くの皆さんの理解を得る数字だと思つ。

改善する点は大胆に 町民スポーツの確立を

問

町のスポーツ人口を拡大し、競技種目の振興を図るための長期ビ

ジョンをどこに求めるか。その基本的な方針を聞きたい。

町に特徴をもった無形財産となるスポーツの確立を望みたい。高岡のバドミントン、小杉の相撲、小矢部ホッケー、八尾ボートが確立されており、宇奈月、福岡ではアーチェリーが検討されている。また、朝日町はビーチバレーボールの全国親善大会等も開催している。町が考案したウォークベースポールの町内外の普及状況はどのようになっているか。

県からスポーツ派遣主事を迎えて学校教育や生涯教育の両面にわたっての期待も大きい。一人や二人の力では限界がある。体協組織と指導員協議会など中核となる団体、人材を有効回転させることが飛躍発展の大きな鍵を持つと思つ。現在の体制の中にマンネリ化や硬直化の傾向がないか。改善すべき点があれば大胆にユニークに実践計画を組んでみてはどうか。

体力に応じた スポーツ活動を

教育長

スポーツは人間の文化の中で極めて重要なものの一つである。

心身の健全な発達を促し、生涯にわたってスポーツに親しむ能力や態度を培うために、すべての町民がスポーツを楽しむ町づくりを目指し、町独自の生涯スポーツプラン策定に取り組んでいる。町民一人ひとりが、生活環境や

健康体力に応じたスポーツ活動を容易に行えるようにするため、学校における体育スポーツと生涯スポーツの連携を図りながら、日常的、継続的に活動が行われるよう努力していきたい。

指導者の確保が課題

スポーツ振興課長

特色あるスポーツの推進として町が考案したウォークベースポールの協力が昨年四月に設立され、本年度は第六回の大会を開催し、町民体育大会の種目にも取り入れられている。また、県外からも二百を超える照会が来ており、今後は協会と協力して、普及用のビデオを利用しながら、高齢者のみならず、児童生徒、職場での講習等を開き普及に努めたい。

スポーツ活動の指導者の養成と確保は当面の重要な課題であるので、各種の指導者講習会に積極的に派遣し、第一線級の選手活動を終えた方には指導者をお願いするなど、スポーツリーダーバンクのピーアールと利用の



▶ 今度はホームランを打つぞ！
町が考案したウォークベースポール

拡大を図りたい。
組織の拡充と競技力の向上に資するためには、特に少年を中心とした地域活動を助長し、家庭や学校との連絡調整を図りながら、活動がスムーズに運営できることが肝要である。今後はハイレベルの指導者を招き、直接指導を受ける機会を設け、さらに体育協会や種目別協会とも連絡を密にし、各大会が継続的に行われるよう努めたい。

在来校の施設充実を

教育環境の格差が心配

佐藤 学 英 議員(自民)

確信している。

自治省の公共施設調査によると大地震の際に倒壊の恐れがある危険校舎は、全国の国公立小中学校三万五千二百四十六校の約八割、二千七百七十六校もあるという発表があったが、入善町には、これに該当する学校はないのか。子供の個性と能力を最大限に伸ばすには、すぐれた環境と充実した施設が必要である。

問

自治省の公共施設調査によると大地震の際に倒壊の恐れがある危険校舎は、全国の国公立小中学校三万五千二百四十六校の約八割、二千七百七十六校もあるという発表があったが、入善町には、これに該当する学校はないのか。子供の個性と能力を最大限に伸ばすには、すぐれた環境と充実した施設が必要である。

問

昨年、飯野小学校がすばらしくなったのを見ると、新築校と在来校との教育環境の格差が心配されるが、在来校の施設の充実にどのように対応されるのか。

このあと、残された学校の統合をどのように方向づけられるのか。

設備の改善に配慮

町長

在来校と新しい学校に施設面での格差はやむを得ないが、教育効果全体の格差が生じないように、施設の維持修繕や備品などの充実に努めたいと思っている。

全国の危険校舎八割の中には、入善町の校舎は含まれていないと

来年度に調査費

町長

入善中学校の雨もりに対してはコーキングや塗装工事を行っているが、鉄筋コンクリートの構造上、原因が的確につかめず、対処できない状態にある。

完全に直すには相当大きな予算が必要なので、十分調査しながら対処したい。

グラウンドについては、来年度予算で調査費を計上し、抜本的な整備を考えている。

悪名高い簡易舗装

問

道路改良、舗装、消雪などに対する町民の関心は非常に高いものがあるが、まだまだ未整備な所が多い。特に簡易舗装道路は二十年近くたっており、亀裂や穴が多くて、危険が付きまわっている。

町には簡易舗装道路がどれだけあるのか。本舗装にやりかえる意

要望多い道路整備

町長

道路は町民の生活や産業の発展にとって、きわめて大切な要素であり、町政懇談会の席上でも道路や水路、生活環境の整備に対する要望が非常に多い。

今年度も当初予算で八千八百万円、九月補正で約一億円をお願いしており、隣接市町に見劣りはしていないと思っ

ている。今後も、財源等を考えながら、新年度予算でも充分に対応したい。

舗装率は八割

建設課長

町道四百五十七路線のうち、八月末で舗装率が約八割、農道八十七路線のうち三十五割程度が舗装済みである。

簡易舗装は、かつて失業対策事業として、町が直営で三十路を行ったもので、現在十路ぐら

残っている。毎年、拡幅改良に合わせ舗装のやり直しをしているが、今年度も約一・五割の改良を行う予定にしている。

消雪は人家の密集地や受益者負担のまとまった所を優先に行っており、井戸十八か所、延長十六・八割が設置済みとなっている。今年度も延長約一・八割を施工できると考えている。



▶ 痛みが激しい簡易舗装道路

青木 地内

早期完成に全力 農村基盤整備事業

農村基盤総合整備事業は、横山、上原、舟見、飯野西部の四地区で工事期間十年、総事業費十三億三千九百万円の計画になっており、六十二年度末の事業実績は一億七千五百万円、進捗率は全体で十三割となっている。特に横山地区の場合は、五十九年の着手から五年経過したが、まだ計画の十九割であり、先行きが心配される。早期完成のためにも、国や県に全力をあげて陳情されるようお願いしたい。

目標達成は可能

町長 この事業の重要性は十分認識しているが、仕事をすればするほど町の補助金が多額になり、町の財政を圧迫する要因となっている。できれば関係の土地改良区で十分に調整されながら進めていきたいと思っている。

建設課長 農村基盤総合整備事業は、四地区合わせて、本年度末で二十一割の進捗率を見込んでいる。

この事業は十年をめぐりにしており、初年度は予算が少ないが、順次予算もふえてくるので、ほぼ目標年度の中で達成できるのではないかと思っている。

常任委員会

審査報告



繰越金は三億六千万円

一般会計補正予算は、賛成多数で採択すべきものと決定した。今回の補正額は二億六千七百七十万四千円、その財源として地



方交付税で五千六百万円、国庫支出金で三千八百六万円、町債が一億二千九百万円、寄付金、諸収入で四百六十六万円、繰越金を一億五千六百七十二万三千円あてるとの繰越金は、今回の補正で総額三億六千五百一十四万七千円となり、六十二年度からの実質繰越額がすべて予算計上されたことになる。

状況に応じて配慮を 消費工事の地元負担

審議の中で、特に問題となり議論が集中したのは、消費工事の地元負担の問題である。今回の補正では、黒東小学校前と入善八区の消費工事などの無害なまわりの道路に二十割の負担が計上されており、その財源の一部として百五十万円の寄付金が予定されている。消費工事の地元負担は二十割と決められているようであるが、今回のように通学専用道路と言えらるる道路にも二十割の負担が必要なのかどうか。通学路としての負担にふさわしい負担率はどれくらいであったら良いか研究して必要がある。

地元の意志を最優先

奥中野線の開設事業費補助金が一千九十五万円の減額になっている。ゴルフ場計画ともからんで新川森林組合内でも意見が分かれて

零細業者の育成を

低開発地域工業開発促進法施行に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正は、国の法律改正に基づく条例の整備である。この条例の適用を受けている企業は十四、五社で、約九千万円ぐら

おり、県の指導もあって一年間凍結するというところであるが、う回路の調査費も計上されているので、林業の振興という観点からも、地元の見解を最優先にしながら、関係機関と十分に連絡をとり、早急に対策を立てられたい。

消費税は継続審査

消費税に関する請願は、国会において税制改革案が審議される予定になっており、国会の今後の審議を見守るべきだという意見が大勢を占めたので継続審査とした。リクルート疑惑などの真相解明を要求する請願は、新聞、テレビで報道されているとあり、国会において論議が重ねられており、意見書の提出については賛成少数で不採択とした。

四千万円を追加補正 屋内ゲートボール場

付託された議案三件はいずれも全員一致で可決すべきものと決定した。

一般会計の補正額のうち当委員会付託部分は五千九百十六万円で、そのうちの四千円が屋内ゲートボール場の建設事業費である。これは当初二千百万円で計画されていたものだが、県内初めての施設ということで通風をよくする、採光に配慮する、ユニークなものにしてモデルケースにしたいという県の要望もあって大幅な設計変更をするものであるが、利用者の声を十分に聞かれ、立派なものにしていただきたい。



予算編成は慎重に 生ゴミ処理器はヒット

黒東小学校の井戸さく泉工事費三百七十万円の計上は、井戸が壊れたために、消費用に掘った井戸を利用しているとのことである。児童の飲料水の問題であり、早急に対応されたい。

生ゴミ処理器の購入補助金とし

て百万円が計上されている。昨年からは始められたこの事業は非常に好評なようで、収集ゴミの減量化にもなり、なかなかのヒットであったと評価する。ただ、予算編成に若干問題があるように思える。当初予算五十万円に対して倍額の百万円が補正になっており、同じように、ゴミ収集ステーション設置補助も当初予算三十万円に対して今回四十万円の補正になっている。希望がどれだけあるかわからないとはいえず、当初予算の組み方が安易でなかったのかと思われる。保育所修繕費は二百八十万円で舟見、柗山、東部、野中の四か所について便所や遊戯室の修繕が行われる。子どもの衛生や健康安全に係わる問題であり、事故のないよう万全を期していただきたい。

山本先生に感謝

簡易水道特別会計補正予算については、舟見源泉前通りの道路改良工事に合わせて、道路内に敷設してあった水道管を三百一十メートルに入れ替えるもので、工事費百六十万円は前年度からの繰越金を充てるものであり問題はない。育英奨学資金特別会計補正予算については、医科大学院生一名分、二十四万円を追加するもので問題はない。なお、山本正勝先生には昭和四十九年以来、今日まで二千八百三十万円にもなる寄付をいただいでおり、心から感謝申し上げます。



委員長 白又正司

道路改良に重点

町単独事業に一億円

一般会計の補正額二億六千七百七十四万三千円のうち、当委員会への付託部分は約七十五割にあたる二億三千三百八十四万四千円で、この約八割が国県補助事業を含めた道路関係予算となっている。

六月定例会の一般質問において三名の議員から道路改良舗装に関する大幅な増額を要請されていたが、今回約一億円が補正されており、敬意を表したい。なお、せっかく計上された予算が事務処理の遅れなどで未執行になるといふことのないように注意願いたい。

代替地を先行取得

中央通り線の改良

三十年来の懸案であった都市計画道路中央通り線が、本年度から県事業として着手されたことは大変喜ばしい。しかし、この事業を進める上で最も重要なポイントである用地交渉と代替地の確保が町の責任だということに苦勞が多いことと思う。今回、代替地の先行取得として三千四百万円が計上さ

公園管理に配慮を

水公苑の整備は、県補助金の増額によって今年度ではほぼ完成するということが、黒部の名水のPRに大いに役立ち、入善町のイメージアップにもつながるものと期待している。

大切なのは完成後の管理であり、これを怠ると反対にイメージダウンが心配されるので、公園都市宣言をしている入善町の公園が常にクリーンであるように充分な配慮を願いたい。

種子一時保管庫建設に関する助成については、入善町は良質米の生産基地としての声高を高め、おり、良き種子あつてこそその良質米であるので、採択すべきものと決定した。

消雪は町道認定後に

町道鋪り場線復線の消雪工設置については、請願のあった区間三百五十メートルのうち約二百二十メートルが町道に認定されていない。民家も密集しており、消雪工事の必要性は充分に理解できるが、私道に対して公費を支出するという事になれば、今後大きな影響が予想されるので、手続上の問題が解決を、町道に認定されるまで結論を出すべきでないとの意見で全委員が一致したので、継続審査とした。

10月14日

第21回臨時議会



▲10月19日、屋内ゲートボール場の起工式

— 老人福祉センター横で —

臨時会は十月十四日に開催し、屋内ゲートボール場の新設工事の契約条件と議員提出議案一件をそれぞれ原案どおり可決しました。

大信建設が請負

屋内ゲートボール場建設

県のモデル事業として、三分の一の県費補助を受け、風や雨ののどきも、冬期間でも競技ができる県下で初めての施設として鉄筋平屋建、床面積六百五十二平方メートル、老人福祉センター横に建築する。

工期は六十四年三月十日まで。契約相手方 大信建設興業株式会社。契約金額 五千六百万円。

議員提出議案

米の市場開放阻止に関する意見書

金米精米業者協会は、九月十四日、我が国の米市場開放を求める提訴を米国政府に行った。このため、仮に米国政府が提訴を受理したとしても、これを毅然たる態度ではねつけ、絶対に市場を開放しないよう、政府・国会に意見書を提出する。

行政視察報告記

7町5反の水田 用排水は地下パイプで

産業建設委員長 白又正司

去る八月二十三日、町役場、農協、普及所等が一体となって、町内專業農家、農業委員など計五十二名が、地鉄バスにて、七町五反の水田、日本一、いや世界一の村々るみによる集団的土地利用型農業経営の視察へ、役場前を出発しました。町の農業行政視察は初めてとあって、夢と期待の渦巻く車中は朝陽など、どこへやら。農政課吉田主幹をはじめ、町長代理上田収入役を中心に、一条乱れぬ模範行動には、議会より参画させて頂いた五十里議員とも、これが二十一世紀に向けて町農業経営の土台となる百姓と根性を垣間見た様な気が致し、身の引き締る思いでもあった。

印旛沼の南岸

肥沃な沖積土壌

目的の千葉県佐倉市農事組合法人角来工区農業組合は市の北部に位置し、印旛沼南岸、東側に市内中央を流れる鹿島川に隣接した地域で、水田は沖積土壌で比較的肥沃である。

組織母体は、佐倉市角来地区で昭和五十三年から五十五年にかけて、印旛沼土改区が実施した圃場整備を機に地主で組織された申し合せ組合「角来工区農地管理組合」である。組合員五十八名で昭和五



▲ 水田の用排水は地下パイプ

農業散布はレーザー光線 整地作業はレーザー光線

土地改良として注目される点は、まず第一に印旛沼の底土を液流して低い所に埋め立て、圃場を平らにした。二番目は用排水路を地下パイプライン化し、維持管理費の節減と、圃場を一・五倍、七・五倍に大型化した。また地上の用排水路であった土地を売却し、工事費の自己負担はゼロとなっている。

十六年に設立し、高度転換対策モデル事業、農事組合法人角来工区農業組合を発足させた。

三番目は六十一戸中、五十八戸が「一か所に集団換地(事前換地)」。四番目には水田の汎用化が可能となったことである。さらに土地利用型農業の実践により成果を上げつつある。

「目指すは我が農業革命、世界一安い米づくりに挑む」と語る、角来工区土改理事長、兼坂祐氏。肥料、農業散布はレーザー光線による小型飛行機で、整地作業はレーザー光線利用である。

国有地を減らし 民有地が増加

ただ、ここで問題になったことは、道路や水路という国有地を減らして民有地を増やし、負担金をタダにするということは、何か不都合な懸念が生じないか。国有地は従前と同じ面積を残さなくてはいけないという考えが、私たちの地元にも役所にもあるためである。

しかし土地改良法を見ると、五条六項に、その地区内に国有地がある場合には、それを管理する行政庁の承認が必要である。さらに同法の五十条に、代替施設として新しく作られた道路水路を国有地とした場合は、不要の国有地は無償で土改区に譲渡するとあります。

五十四条の二の六項、七項には、換地計画で定めた場合には、新道、新水路は国に帰属し、従前のものは消滅する。いわゆる機能交換と言って、面積の増減は良いということになっている。

日本一の米づくりの 秘策を聞く



農業の生き残りに挑戦

コメの自由化という外圧を目前に日本農業は生き残れるのか。千葉県佐倉市で戦後一貫して農地改良に携わってきた兼坂氏は、跡取りのいない水田を集めて後楽園球場の十倍程の水田を作り、一人の專業農家で経営のできる、コストのからぬ日本農業のあるべき姿に挑戦している。

百聞は一見に如かず。このたび、町当局並びに議会のご賛同を得て現地視察のできましたことを一同感謝申し上げますと共に、今後も町農業行政視察に一段のご配慮をお願いいたします。

誌 日 会 議

8月



- 11日 入善駅利用促進協議会
- 22日 祖母谷砂防ダム起工式 (宇奈月町)
- 23日 議員全員協議会
- 27日 小中学校相模大会
- 28日 郡婦人意見発表大会

9月



- 1日 東部議長会研修視察 (長野県大町市)
- 2日 市町村新聞社三十五周年記念パーティ (高山市)
- 7日 町村議会議員研修会 (高山市)
- 12日 議会運営委員会 (高山市)



9月28日、文教厚生委員会で入善小学校建設現場を視察

10月



- 14日 新川広域圏ゴミ処理場安全祈願祭 (黒部市)
- 19日 議員全員協議会
- 20日 第二十回議定会例会(提案理由説明)
- 22日 議定会例会(一般質問、質疑、委員会付託)
- 25日 青年議会
- 26日 飯野コミュニティ広場オープン式
- 27日 産業建設常任委員会
- 28日 東京入善会 (東京都)
- 28日 文教厚生常任委員会
- 30日 新幹線建設促進協議会
- 30日 議定会例会(各委員長報告、討論、採決、監査結果報告) (東京都)
- 3日 町社会福祉大会
- 4日 長野県豊科町議会議察米町
- 5日 友好都市推進委員会
- 6日 新潟県亀田町議会議察米町
- 11日 決算特別委員会
- 13日 決算特別委員会
- 14日 決算特別委員会
- 18日 朝日・魚津バイパス期成同盟会 (魚津市)
- 18日 議員全員協議会
- 18日 第21回臨時議会
- 18日 新川広域圏関係市町議会議

11月



- 5日 「未来の黒部川流域を考える」講演会(宇奈月町)
- 7日 身障者スポーツ大会
- 8日 朝日・宇奈月線改良期成同盟会 (宇奈月町)
- 8日 決算特別委員会
- 9日 決算特別委員会、町内現地調査
- 12日 入善ふるさとふれあい川まつり (朝日町)
- 13日 関西入善会 (大阪府)
- 14日 呉東地区町村議会議長会研修会 (山梨県)
- 15日 全国議長大会 (東京都)
- 16日 全国豪雪大会 (東京都)
- 18日 総務委員協議会
- 19日 社会教育大会
- 21日 議会だより編集委員会
- 19日 員体育大会 (朝日町)
- 19日 屋内ケットボール場起工式
- 20日 黒部川神社祭礼 (宇奈月町)
- 24日 和歌山県高野口町議会議察来町
- 27日 新潟県川西町議会議察来町
- 28日 秋の消防訓練
- 28日 下新川郡老連ケットボール大会

編集後記

○入善町で初めて開かれた、ふるさとふれあい川まつり。初日は天気良かったものの強風に悩まされ、二日目は時々雨と強風の悪コンディションながら、二万五千人という予想をはるかに上回る人出で賑わいました。イベントの目玉である黒部川大漁蛙鍋の前には行列が並び、コシヒカリを使った蛙の丼しも午前中で品切れになる大好評。○しかし一方では、富山から電車で来たという中年男性が役場を訪ずれて、駅前には交通案内がないことにまず不満の声。なんとか会場に着いたところが全部売り切れて、食べる物が何もない。「こんなバカなまつりがあるか」と腹を立てて帰られたとか。せつかくのイベントも逆効果になることがあるという警鐘かも知れません。○十二月議会が間もなく開催されます。町政に対する一般質問は十三、十四日の二日間で行う予定です。ぜひ傍聴においで下さい。

議会だより編集委員

- 石川 昭男 白又 正司
- 池原金与志 本田 幸光
- 広瀬 義孝 佐藤 学英
- 坂川 清治 九里 郁子